

# I 新たな時代の観光への対応

## 1 関係人口創出に向けた裾野の拡大

### (1) デジタル技術を活用した持続的な関係づくり

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
戦略的な観光情報発信事業 (9,000千円)	<p>「とやま観光ナビ」を中心とした観光情報発信や、SNS等を活用した流入対策を行う等、制作・発信・検証のPDCAを回し、デジタル観光情報発信力を強化した。</p> <p>富山県の魅力である「食」に特化したSNSアカウントを新規開設し、食関連の催事や食をテーマとした本県公式サイト等と連携し、本県の食の豊かさを国内外に発信することで、関係人口の創出を図った。</p>	観光振興室  成長戦略室
「旬のとやま旅」情報発信事業 (20,621千円)	コアな富山ファンやリピーターの獲得に繋げるため、自然や食文化、伝統文化等の旬の富山県ならではの観光情報をデジタルや紙媒体を有効活用しながら発信した。	観光振興室
欧米豪デジタルマーケティング推進事業 (31,964千円)	<p>欧米豪からの誘客を推進していくため、デジタルマーケティングの手法により、ターゲットとすべき市場等を調査・分析した。</p> <p>海外で著名な富山ゆかりの偉人に焦点をあてた外国人向けコンテンツを調査・造成し、海外に向けたプロモーションを実施することで県内への誘客促進を図った。</p>	観光振興室  成長戦略室
インバウンドSNS等情報発信強化事業 (4,600千円)	海外の各市場の嗜好に応じた英語、繁体字、簡体字のSNSを用いて、訪日外国人旅行者の嗜好に合わせた県内観光情報の発信を行った。	観光振興室
インバウンド向け観光情報サイトリニューアル事業 (29,564千円)	<p>インバウンド向け観光ホームページをデザイン・内容・システム等を見直してリニューアルすることにより、魅力的かつ戦略的な情報発信を行い、インバウンドの誘客促進や周遊促進、消費額の増を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デザイン・レイアウトのリニューアル</li> <li>・SNSとの連動</li> <li>・コンテンツの充実 など</li> </ul>	観光振興室

## (2) インフルエンサーなど誘客の起点となるコアな富山ファンの創出

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
戦略的な観光情報発信事業 (再掲) (9,000千円)	<p>「とやま観光ナビ」を中心とした観光情報発信や、SNS等を活用した流入対策を行う等、制作・発信・検証のPDCAを回し、デジタル観光情報発信力を強化した。</p> <p>富山県の魅力である「食」に特化したSNSアカウントを新規開設し、食関連の催事や食をテーマとした本県公式サイト等と連携し、本県の食の豊かさを国内外に発信することで、関係人口の創出を図った。</p>	観光振興室  成長戦略室
JR連携富山ファン創出事業 (21,375千円)	<p>首都圏での富山ファン創出・誘客促進を図るため、JR会員組織と連携した情報発信や誘客を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JR東日本の旅行会員組織「大人の休日倶楽部」と連携したツアー・趣味の会講座の開催</li> <li>・駅たびコンシェルジュ向け勉強会等の開催</li> <li>・首都圏の主要な駅での物産展の開催 など</li> </ul>	観光振興室

## (3) 発地でのリアルな富山体験等による関係人口創出

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
首都圏魅力発信イメージアップ事業 (6,499千円)	<p>首都圏メディアへのリリース配信や、マスコミ各社とのリレーション構築、イベント出展、首都圏独立放送局3局での番組放映、本県の食や観光を体験できるオンライン交流会の実施等により、富山の魅力発信を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リリース配信13回</li> <li>・「富山の極味 in T o k y o」の作成・配布 等</li> </ul>	首都圏本部
富山県の物産と観光展の開催 (6,900千円)	<p>本県への誘客を図るため、金山総合駅(名古屋市)において、令和4年11月24日～26日に「とやまの観光とうまいもの展」を開催し、本県の物産と観光地の魅力を発信した。</p>	観光振興室
県内事業者支援 in 日本橋とやま館事業 (11,471千円)	<p>新型コロナの影響を受ける県内事業者を支援するため、日本橋とやま館で富山の食・ものづくり・自然などテーマに沿った場所(富山)からのリモート中継を通じて富山の魅力をリアルに体感するイベントの実施や、富山の食材やテーブルウェアを使用した「内食」の普及等を通じて、県内観光地や県産品の発信力を強化した。</p>	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
とやま移住・応援人口創出事業 (2,464千円)	県外在住で、富山の地域づくりや暮らしに関心を持つ社会人の方を対象に、富山とつながる関わりしるを発見する講座を実施し、本県を応援する人材（関係人口）の創出を図った。	成長戦略室
温故知新観光物産展事業 (3,600千円)	富山県とのゆかりが深い企業やイベントにおいて、富山とのゆかりに主眼を置いた物産展・展示等を実施し、県産品販売や効果的な誘客につなげるなど、関係人口の創出を図った。 ・本県ゆかりの企業やイベントにおける物産展・展示等の実施 計5か所	成長戦略室

## 2 ウェルビーイング・魅力の再発見とマイクロツーリズム定着

### (1) 地元の魅力再発見・発信やふるさと教育による観光地域ブランディングの推進

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
越中富山ふるさとチャレンジ事業 (4,000千円)	富山の自然や歴史、文化などに関する施設を巡る「ぐるっと富山ラリー」の実施により、県民がふるさと富山の魅力を再発見する機会を創出した。 ・スタンプラリー 総応募件数 1,576件 ・モバイルラリー 総応募件数 613件 等	ワンチームとやま推進室
富山ふるさとマスター派遣事業 (800千円)	学校、企業、地域住民、市町村等が開催するふるさとに関する研修会等に、越中富山ふるさとチャレンジ上級合格者等（富山ふるさとマスター）を講師として派遣することなどにより、ふるさとへの誇りや愛着を育む気運の醸成を図った。 ・富山ふるさとマスター登録者数 20人 ・派遣回数 23回	ワンチームとやま推進室
関係人口 1,000万人協働促進事業 (2,961千円)	県内のボランティア団体等が、他の団体、自治振興会、企業等と協働し、新たな発想で地域活性化を図る事業に対して、広く支援した。 ・補助件数 14件	県民生活課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
富山の文化遺産 魅力発信事業 (782千円)	<p>とやまの文化遺産魅力発信事業実行委員会を立ち上げ、重要文化財「常願寺川砂防施設」やユネスコ無形文化遺産をはじめとした本県の文化遺産の魅力の情報発信を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・冊子「とやま水の文化遺産めぐり」作成 15,000部</li> <li>・リーフレット「とやまの自然ものがたり」作成 15,000部 等</li> </ul>	生涯学習・文化財室
文化財の美装化 等推進事業 (13,102千円)	<p>重要伝統的建造物群保存地区「山町筋・金屋町・吉久」の町並みの外観修理や重要文化財「岩瀬家住宅」の防災設備の更新等に対して、支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助件数 3件</li> </ul>	生涯学習・文化財室
文化財ボランティアの外国人 対応力向上事業 (69千円)	<p>おもてなし向上講座開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：令和5年3月10日</li> <li>・参加者：30名（文化財ボランティア団体）</li> </ul>	生涯学習・文化財室
とやまのユネスコ無形文化遺産 情報発信事業 (308千円)	<p>とやまのユネスコ無形文化遺産普及啓発事業協議会を立ち上げ、本県のユネスコ無形文化遺産の人材育成・情報発信を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・とやまのユネスコ無形文化遺産記録保存事業</li> <li>・観光ボランティア養成事業（高岡市で開催）</li> <li>・ユネスコ無形文化遺産保存伝承事業（巡回パネル展）の実施（滑川市、砺波市で開催）</li> </ul>	生涯学習・文化財室
県民ふるさとの 日記念事業 (1,480千円)	<p>5月9日の県民ふるさとの日に、県の施設の無料開放を実施。また、記念式典を開催し、「県民ふるさと大賞」を授与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：令和4年5月8日（日）</li> <li>・表彰団体：6団体</li> </ul>	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
全国観光需要促進事業 (7,732,174千円)	<p>コロナ禍における観光需要の創出のため、地域ブロック県民向け観光キャンペーン、全国旅行支援等を実施した。</p> <p>○地域ブロック県民向け観光キャンペーン            (地元で愉しもう！とやま観光キャンペーン)            (令和3年5月1日～令和4年10月10日)            令和4年度分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊割引額 1,545,853千円 (337,057人泊)</li> <li>・日帰り旅行割引額 288,808千円</li> </ul> <p>利用者数 83,944人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おみやげクーポン券利用額 738,926千円</li> </ul> <p>○全国旅行支援            (富山で休もう。とやま観光キャンペーン)            (令和4年10月11日～令和5年3月31日)            令和4年度分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊割引額 2,429,180千円 (642,916人泊)</li> <li>・日帰り旅行割引額 15,311千円</li> </ul> <p>利用者数 10,299人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おみやげクーポン券 利用額 1,668,665千円</li> </ul> <p>また、全国旅行支援の利用を促進するため、各種プロモーションを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光物産展開催 計6回            (熊本、大阪(2回)、博多、仙台、高崎)</li> <li>・主要テレビ局でのCM放映(関東圏、関西圏)</li> <li>・新聞広告掲載(関東圏、関西圏、中京圏等)</li> <li>・WEB広告配信(全国)</li> <li>・鉄道、空港デジタルサイネージ広告(首都圏等)</li> </ul>	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
観光需要等回復 支援事業 (990,597千円)	<p>観光需要を本県に取り込むためのキャンペーン等を実施し、観光関連事業者を支援した。</p> <p>○全国旅行支援おみやげクーポン券上乘せ            令和5年1月10日～2月28日の期間、おみやげクーポン券を1人1泊あたり2,000円分追加付与した。            ・付与額 364,116千円</p> <p>○特産品プレゼントキャンペーン            令和4年8月1日～令和5年3月31日の期間、県内宿泊施設の宿泊者に特産品をプレゼントする「とまって富山、もらって富山キャンペーン」を実施した。            ・総応募者数 81,746名            ・当選者数 27,400名</p> <p>○WEB物産展            大手ECサイト上にて、令和4年10月24日～11月22日、令和5年2月1日～3月7日の期間に計2回の物産展を開催した。            ・第1回 出店数 72店舗 (956商品)            売上 81,252千円            ・第2回 出店数 79店舗 (1,063商品)            売上 152,965千円</p>	観光振興室
立山黒部魅力再 発見・誘客支援事 業 (112,786千円)	<p>県民による立山黒部の魅力再発見やマイクロツーリズムの促進に向けて、立山黒部貫光(株)や黒部峡谷鉄道(株)が実施する誘客キャンペーン等を支援。</p> <p>・富山県民や近隣県民を対象とした割引きっぷ、各種クーポン券付きっぷの販売や、夏休み期間中の小学生運賃無料キャンペーンを支援</p> <p>・旅客誘致のためのイベント開催や各種広告宣伝を補助</p>	観光振興室

(2) 暮らしを体験できる観光サービスの充実に向けた事業化支援と担い手育成

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
とやま観光塾事業 (19,442千円)	<p>おもてなし力の向上やお客様に満足いただける観光ガイドの育成、魅力ある観光地域づくりをリードする人材の育成を図った。</p> <p>○修了生 44名</p> <p>(内訳) 観光地域づくり入門コース 22名            観光ガイドコース(中級専攻) 4名            観光ガイドコース(上級専攻) 2名            観光ガイドコース(インバウンド専攻) 2名            観光魅力アップコース(観光地域リーダー専攻) 9名            観光魅力アップコース(食のおもてなし専攻) 2名            グローバルコース 1名            観光地域づくりマネジメントコース 2組2名</p>	観光振興室

(3) マーケティングに基づく県民・近隣県民向け情報発信・誘客と観光コンテンツの充実

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
マイクロツーリズム推進事業 (17,384千円)	<p>令和3年度の「マイクロツーリズム推進に向けた調査事業」、「マイクロツーリズム推進に向けた検討事業」における分析結果を活用し、近隣県からの誘客を促進。</p> <p>令和4年12月～令和5年2月の期間に誘客ターゲットへの広報宣伝・OTAを活用した宿泊プラン造成を実施し、アンケート調査により、結果の分析・効果検証を実施。</p>	観光振興室

### 3 デジタル技術の活用

#### (1) 需要喚起・誘客促進のデジタルシフト

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
欧米豪デジタルマーケティング推進事業 (再掲) (31,964千円)	欧米豪からの誘客を推進していくため、デジタルマーケティングの手法により、ターゲットとすべき市場等を調査・分析した。 海外で著名な富山ゆかりの偉人に焦点をあてた外国人向けコンテンツを調査・造成し、海外に向けたプロモーションを実施することで県内への誘客促進を図った。	観光振興室  成長戦略室
県内事業者支援 in 日本橋とやま館事業(再掲) (11,471千円)	新型コロナの影響を受ける県内事業者を支援するため、日本橋とやま館で富山の食・ものづくり・自然などテーマに沿った場所(富山)からのリモート中継を通じて富山の魅力をリアルに体感するイベントの実施や、富山の食材やテーブルウェアを使用した「内食」の普及等を通じて、県内観光地や県産品の発信力を強化した。	観光振興室

#### (2) デジタル技術を活用した観光コンテンツ・サービスの充実化

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
とやまでお試しテレワーク移住促進事業 (1,634千円)	関係人口の創出や二地域居住・将来的な移住の促進、サテライトオフィスの誘致につなげるため、県外在住のテレワーカーのお試し移住の支援を行った。 ・利用者 のべ17名	成長戦略室
富山空港線インバウンド対応支援事業 (3,836千円)	富山空港を発着する富山空港線バスの外国人受入環境を整備するため、非接触式キャッシュレス決済導入を支援を行った。	観光振興室

### (3) データを活用した効果的・効率的な観光地経営

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
データサイエンスを活用したビジネス観光誘客促進事業 (9,900千円)	県内観光担当者のデータ活用のスキルアップを行うとともに、ビジネス客向けの特別宿泊観光プラン、体験コンテンツの造成・販売につなげ、誘客を促進した。	観光振興室
ICTを活用したデータの収集・分析事業 (4,865千円)	富山県立大学と共同で旅行者へのウェブアンケート調査を実施し、旅行者データベースを構築することにより、ターゲットに応じたプロモーション等への活用を図った。	観光振興室

### (4) 顧客情報を活かしたリピーター確保と受入態勢整備

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
首都圏とやまの魅力発信事業 (25,997千円)	首都圏において富山県の魅力をPRするため、日本橋とやま館を活用し、館主催及び県内市町村、県庁内各課との共催イベントの開催や、本県の魅力を紹介するフリーペーパーの発行、スタンプラリーや地域イベントへの参加などにより、本県独自の魅力について情報発信を行った。	観光振興室

## 4 ウィズコロナへの対応

### (1) 安全・安心の環境整備及び情報発信

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
新たな時代に対応した観光地域づくり支援事業 (17,104千円)	ポストコロナを見据え、観光事業者が取り組む旅行商品・サービスの造成やデジタル技術の活用などの新たな観光ビジネスに対し支援した。 ・補助件数 28件	観光振興室

(2) 「新しい生活様式」に対応した観光コンテンツの創出

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
新たな時代に対応した観光地域づくり支援事業 (再掲) (17,104千円)	<p>ポストコロナを見据え、観光事業者が取り組む旅行商品・サービスの造成やデジタル技術の活用などの新たな観光ビジネスに対し支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助件数 28件</li> </ul>	観光振興室
宿泊事業者コロナ新時代対応支援事業 (11,210千円)	<p>ウィズコロナでの優良事例の紹介やセミナー、専門家によるコンサルティングを実施するとともに、宿泊施設認証制度のフォローアップ調査を実施した。</p>	観光振興室
とやまワーケーション推進事業 (9,660千円)	<p>コロナ禍におけるテレワークなど新しい働き方の変化に対応し富山ならではのワーケーションを推進するため、県内各地のモデルプランや体験ツアーの充実を図るとともに、戦略的なPRや県外企業等への支援によりワーケーション誘致を推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内でのワーケーション実施者への助成利用者 のべ55名</li> </ul>	成長戦略室

## II 持続可能な観光地域づくり

### 1 戦略的な観光地域づくり

(1) 県DMOの組織・機能のさらなる充実と専門性向上による「稼げる」観光地域づくり

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
ICTを活用したデータの収集・分析事業 (再掲) (4,865千円)	富山県立大学と共同で旅行者へのウェブアンケート調査を実施し、旅行者データベースを構築することにより、ターゲットに応じたプロモーション等への活用を図った。	観光振興室
富山県観光客動態調査(観光地点パラメータ調査)事業 (4,380千円)	観光客の県内観光地の訪問地点数や観光消費額等の算定の基礎とするため、観光客に面接アンケートを実施した。	観光振興室
観光マーケティング戦略委員会運営等事業 (3,330千円)	マーケティングデータに基づき、DMOの取組みや、今後のDMO事業の方向性について意見を伺った。	観光振興室
関係者を巻き込むための普及啓発事業 (186千円)	(公社)とやま観光推進機構の会員事業者(観光事業者、交通事業者、宿泊事業者等)、市町村、観光協会等を対象に、インバウンド誘客に関するセミナーを開催した。	観光振興室
観光資源重点磨き上げ支援プロジェクト実施事業 (5,331千円)	意欲のある市町村と連携し、四季を通じて県内の上質なライフスタイルを体験できる富山ならではの観光資源の掘り起こし・磨き上げを行った。	観光振興室
新旅行造成市町村タイアップ事業 (15,000千円)	市町を跨ぐモデルコースの作成及びプロモーションの実施や首都圏向けの広告掲載等実施。	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
まるごと旅行商品化プロジェクト実施事業 (15,005千円)	県内市町村、観光協会、観光事業者等と連携し、着地型旅行商品の商品化をサポートするとともに、大都市圏を中心とした大手旅行会社への営業活動を行い、旅行会社による富山旅行商品の造成を促進した。	観光振興室
マーケティングデータに基づくPR事業 (8,617千円)	新聞・テレビ・雑誌などの編集者などを招聘し、取材記事の掲載を働きかけることにより本県のパブリシティの強化を図るほか、観光人材の育成、富山県観光公式サイト「とやま観光ナビ」ふおとやまライターによる見富山の魅力発信を行った。	観光振興室

## (2) 観光を担う人材育成と地域における活躍促進

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
とやま観光塾事業(再掲) (19,442千円)	おもてなし力の向上やお客様に満足いただける観光ガイドの育成、魅力ある観光地域づくりをリードする人材の育成を図った。 ○修了生 44名 (内訳) 観光地域づくり入門コース 22名 観光ガイドコース(中級専攻) 4名 観光ガイドコース(上級専攻) 2名 観光ガイドコース(インバウンド専攻) 2名 観光魅力アップコース(観光地域リーダー専攻) 9名 観光魅力アップコース(食のおもてなし専攻) 2名 グローバルコース 1名 観光地域づくりマネジメントコース 2組2名	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
おもてなしタクシー ドライバー 養成事業 (702千円)	<p>タクシー利用者の満足度向上を図るため、質の高いおもてなしやきめ細かなサービスを提供できる「おもてなしタクシードライバー」及び「おもてなし優良タクシー事業者」を表彰し、ドライバーの接遇やサービス意識の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・養成研修：令和4年7月19日</li> <li>・表彰：令和4年11月22日</li> </ul> <p style="text-align: center;">受表彰者7人、受表彰事業者1社</p> <p>コンベンションタクシーを担当するドライバーを主に対象とした「観光ガイドドライバー養成講座」を開催し、観光案内や接遇等、おもてなし力の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年9月6日、20日（参加者17人）</li> </ul>	観光振興室
女性による「暮らすような旅」 観光サービス事業 業化プロジェクト (9,800千円)	<p>知的好奇心が旺盛で本物志向、消費ポテンシャルが高い欧米を中心とした「高付加価値旅行者」が本県を訪れるよう、女性の力を活かした「暮らすような旅」サービス商品造成のためのセミナーなどを開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セミナー実施回数：7回（モニターツアー含む）</li> </ul> <p style="text-align: center;">全体参加者15名、修了生10名</p> <p>また、英語ガイド付き着地型旅行商品の造成と販売</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・販売数：2商品</li> </ul>	観光振興室
「観光おもてなし5つ星制度」 普及促進事業 (935千円)	<p>『休んでかれ。』宣言」登録事業者や、おもてなしのステップアップを促進するための「観光おもてなし5つ星制度」を紹介する専用ホームページ運用等により機運醸成を図った。</p>	観光振興室

(3) 旅行者が満足度の高い旅を楽しめる受入環境の整備

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
ハローとやま☆ 貼ろう事業 (3,207千円)	富山県の観光ポスターを作成し、県内外の事業所や飲食店に掲示することにより、観光振興への地域の機運を醸成するとともに、誘客促進を図った。 ・作成部数 新作 1,000部(2種類) 増刷 2,100部(7種類)	観光振興室
観光地誘導案内 デザイン統一化 促進事業 (3,078千円)	外国語標記に対応した統一のデザインによる観光地誘導案内標識を整備し、旅行者の利便性向上を図った。 ・広域観光案内標識(県事業) 設置件数 1件 ・外国語観光サイン整備(市町村補助事業) 補助件数 新設5件 改修17件	観光振興室
ホテル・旅館上 質化等促進事業 (20,224千円)	ウィズコロナ・アフターコロナを見据え、旅行者の多様なニーズに対応するため、県内宿泊施設の上質化の取組み(客室整備等)を支援した。 ・補助件数 1件(1事業者)	観光振興室
旅館施設近代化 等促進事業 (512千円)	宿泊施設が行う客室の増設やリニューアルなどの整備に対する融資(富山県商業サービス業活性化資金観光旅館施設整備枠融資制度)により、宿泊施設の誘客力の向上を図った。 ・融資件数 継続分 1件	観光振興室
高付加価値旅行 者向け宿泊施設 の立地可能性調 査 (3,817千円)	上質な宿泊施設の立地可能性について検討を行うため、ホテル開発事業者等へのヒアリング調査や宿泊施設整備の可能性調査を実施。	観光振興室
クルーズ乗船客 おもてなし向上 事業 (534千円)	寄港時の歓迎行事感染対策等、おもてなしに要する経費を支援した。	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
自然公園等整備 事業等 (103,720千円)	わが国を代表する山岳公園「中部山岳国立公園」の主要利用拠点である、アルペンルート沿線や黒部峡谷において、安全で快適な利用を推進するために歩道や山岳トイレ等の整備を行い、観光客の利便性の向上などを図った。	自然保護課
生活衛生関係営業施設における利用者サービスの向上に対する支援 (226千円)	県内外からの宿泊利用者向けに、富山県内のホテル旅館を一覧できるパンフレットを作成し県内の宿泊施設やホテル以外の生衛業種店舗に配置する事業に対し、補助を行った。	生活衛生課
有峰森林文化村推進費 (49,612千円)	豊かな森林を有する有峰において、有峰森林文化村公園及び有峰ハウスの適切な管理運営を行い、計画的な保守点検の実施等、利用者が安心して施設利用等ができるよう努めた。	森林政策課
県立都市公園の整備・改修 (1,244,694千円)	<p>県民のみならず県外からの観光客にも多く利用される憩いの場やスポーツ・レクリエーションの場である県立都市公園の整備・改修を実施し、利用者の利便性向上などを図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県立都市公園            県民公園太閤山ランド、総合運動公園、五福公園、岩瀬スポーツ公園、常願寺川公園、空港スポーツ緑地、富岩運河環水公園、県庁前公園、県民公園新港の森</li> </ul>	都市計画課 環境政策課
県立都市公園の維持管理 (1,035,495千円)	<p>県立都市公園の適正な維持管理に努め、利用者の安全と満足度の向上などを図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県立都市公園            県民公園太閤山ランド、総合運動公園、五福公園、岩瀬スポーツ公園、常願寺川公園、空港スポーツ緑地、富岩運河環水公園、県庁前公園、県民公園新港の森</li> </ul>	都市計画課 環境政策課

#### (4) 観光産業と他産業連携による域内経済循環の促進

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
(公社) とやま 観光推進機構運 営費等補助金 (10,737 千円)	富山県内における観光事業の健全な発展及び振興並びに地域の活性化に取り組む(公社) とやま観光推進機構の運営に対し補助を行った。	観光振興室
産業観光魅力創 出事業 (2,930 千円)	産業観光魅力創出補助金により、県内企業の受入態勢の整備に対する支援を行った(4件)。	観光振興室
とやま伝統工芸 プロモーション 戦略事業 (7,069 千円)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本県の伝統工芸品の魅力をPRするため、伝統工芸品のプロモーション動画を作成し、併せてSNS配信広告も実施した。</li> <li>・新型コロナの影響を受け、MUJIホテル北京での職人の実演・ワークショップは中止し、代わりに同会場でオンラインサロンを開催した。</li> <li>・中国向け越境ECサイトにおいて県産品のPR動画を作成するとともに、インフルエンサー広告も実施した。</li> </ul>	地域産業支援課

#### (5) 外国人個人旅行者(FIT)受入環境の整備

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
訪日旅行商品造 成支援事業 (1,090 千円)	FIT向け旅行商品の造成のため、台湾におけるセールスコールを実施した。	観光振興室
富山県外国人旅 行者受入環境整 備促進事業 (548 千円)	多言語でのパンフレット制作や免税手続機器の導入、商品開発支援など新たな消費拡大の取組みに対する支援等により、受入環境の整備を図った。	観光振興室
観光地誘導案内 デザイン統一化 促進事業(再掲) (3,078 千円)	<p>外国語標記に対応した統一のデザインによる観光地誘導案内標識を整備し、旅行者の利便性向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広域観光案内標識(県事業) 設置件数 1件</li> <li>・外国語観光サイン整備(市町村補助事業) 補助件数 新設5件 改修17件</li> </ul>	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
富山駅観光総合案内所運営事業 (再掲) (17,132千円)	訪日外国人対応を強化するため、英語、中国語対応が可能な観光コンシェルジュを富山駅構内に配置した。	観光振興室
とやま観光塾事業 (再掲) (19,442千円)	おもてなし力の向上やお客様に満足いただける観光ガイドの育成、魅力ある観光地域づくりをリードする人材の育成を図った。 ○修了生 44名 (内訳) 観光地域づくり入門コース 22名 観光ガイドコース(中級専攻) 4名 観光ガイドコース(上級専攻) 2名 観光ガイドコース(インバウンド専攻) 2名 観光魅力アップコース(観光地域リーダー専攻) 9名 観光魅力アップコース(食のおもてなし専攻) 2名 グローバルコース 1名 観光地域づくりマネジメントコース 2組2名	観光振興室
とやま名誉友好大使の委嘱 (79千円)	外国人の本県在住経験者に対し「とやま名誉友好大使」を委嘱し、富山県を広く海外に紹介してもらうことにより、本県への関心を高め、観光客の誘致促進を図った。 ・新規委嘱数 28人 (全体 1,618人委嘱)	国際課

## 2 広域観光の拠点化

### (1) 広域観光の拠点としての機能充実と情報発信

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
広域観光案内所運営事業 (2,200千円)	新幹線駅など県内2か所の広域観光案内所の運営に対し、支援を行った。	観光振興室
富山駅観光総合案内所運営事業 (17,132千円)	訪日外国人対応を強化するため、英語、中国語対応が可能な観光コンシェルジュを富山駅構内に配置した。	観光振興室

(2) 主要駅、富山きときと空港等と観光地を結ぶ二次交通の利便性向上

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
ぐるっと富山観光地アクセス充実事業 (11,908千円)	<p>旅行者が周遊しやすい環境づくりを進めるため、県内の主要駅等を発着する観光路線バス、ツアーバスの運行経費の一部に対し助成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助件数 観光路線バス 4件</li> <li>                  ツアーバス 5件</li> </ul>	観光振興室
観光交通等回復・販路開拓支援事業 (30,097千円)	<p>交通事業者による観光交通の運行再開・増便への補助を行うと共に、宿泊施設等とセットにした旅行商品の造成を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助件数 4件</li> </ul>	観光振興室
乗りたくなる公共交通推進事業費補助金 (328千円)	<p>交通事業者等が実施するバスや軌道車両のイメージアップのための取組み(車両のラッピングなど)を支援し、観光客の公共交通機関の利用促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助件数 3件</li> </ul>	交通戦略企画課
新幹線アクセス路線バス等運行支援事業 (2,002千円)	<p>旅行者が周遊しやすい環境づくりを進めるため、新幹線駅から並行在来線駅や県内観光地等を結ぶアクセス交通の運行事業に対し支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助件数 2件</li> </ul>	交通戦略企画課
富山空港利用促進貸切バス助成事業 (一)	<p>※国際線の利用に伴う貸切バス助成であり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施実績なし</p>	航空政策課
富山きときと空港と飛騨・高山、世界遺産エリアとのアクセス改善事業 (一)	<p>※新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施実績なし</p>	航空政策課

### (3) 新幹線駅周辺等における賑わい創出・魅力向上

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
ウィズコロナ時代に対応した環水公園賑わい空間創出事業 (16,200千円)	富岩運河環水公園において四季折々のイベントなどを開催し、環水公園を中心とする富山駅周辺地区の賑わい創出と魅力向上を図った。 ・「お花見フェスタ」「キッズフェスタ」「サマーファウンテン」「クリスマスデコレーション」などのイベントの実施 ・秋から冬にかけて園内を美しく彩るスイートイルミネーションの実施 など	観光振興室
学習支援船の運航事業 (2,500千円)	富岩運河を活用した学習支援船(富岩水上ライン)の運航により、運河の歴史や水辺環境の学習を支援するとともに、富岩運河の魅力向上や活力ある地域づくりを図った。	観光振興室
富岩水上ライン利用促進事業 (4,784千円)	富岩水上ラインの利便性向上や魅力発信などにより、利用促進を図った。 ・リーフレット・ポスター作成 など	観光振興室
イタリア料理イベント開催事業 (3,000千円)	県産食材を活用したイタリア料理を楽しめるイベントを富山市と共催し、県産食材の魅力発信とともに、料理教室や、富山駅での飲食、物販イベントを実施した。 ・Buono! #とやまイタリアン 2022 令和4年10月22日、23日	観光振興室

## 3 富山らしい魅力創出

### (1) 「立山黒部」の高付加価値化と魅力の維持向上

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
黒部ルート携帯電話エリア整備事業 (66,032千円)	黒部ルートの携帯電話不感エリア解消に向け、各地点での工事を開始した。	デジタル化推進室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
廃屋等撤去観光 地景観改善支援 事業 (10,384千円)	観光地の景観改善を目的として、地域の観光まちづくりの取組みと連携した廃屋等撤去を支援した。 ・補助件数 2件	観光振興室
「立山黒部」気 象条件等検証事 業 (2,486千円)	観光客の安全・安心の確保を目的とした積雪モデル確立のため、積雪期における「雪の大谷」周辺の気象・雪崩等の調査を実施した。	観光振興室
立山黒部アルペ ンルート除雪事 業 (12,000千円)	立山黒部アルペンルートの早期全線開通を図るため、立山ルート除雪組合が実施する除雪事業に対して助成した。	観光振興室
立山黒部観光宣 伝協議会負担金 (250千円)	富山県と長野県の関係地方公共団体、交通・観光事業者、観光団体等が連携して立山黒部アルペンルートを中心とした観光宣伝を推進することにより、誘客促進及び広域観光の促進を図った。 ・パンフレット作成 ・都市圏における宣伝PR活動 など	観光振興室
観光地区開発事 業費 (834千円)	五箇山地区の合掌造り家屋の茅葺屋根葺き替え等に係る経費の一部を助成し、合掌造りの建物の保全・整備を図った。 ・補助件数 1件	観光振興室
立山山麓レクリ エーション地区 整備推進事業負 担金 (313千円)	立山黒部アルペンルートの入口に位置する立山山麓地区の魅力を広く発信し、誘客促進及び広域観光の促進を図った。 ・パンフレット作成 ・標識や案内看板等の整備 など	観光振興室
世界遺産登録推 進事業 (6,198千円)	「立山・黒部」及び「近世高岡の文化遺産群」の世界文化遺産登録を推進するため、民間団体が行う事業やイベントを支援し、県民意識醸成と観光振興を図った。 ・各種啓発活動や講演会、現地見学会の開催等	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
室堂周辺における Wi-Fi 運用事業 (3,118 千円)	室堂地区の山小屋等に整備した TOYAMA Free Wi-Fi の運用を行った。	デジタル化推進室、防災・危機管理課
立山博物館管理運営費 (211,973 千円)	立山の雄大な自然と、それに育まれた立山信仰などの歴史や文化を紹介する立山博物館において、常設展や企画展(2回)の開催等により、観光客を含め、立山の魅力を県内外に発信した。	文化振興課
立山カルデラ砂防博物館管理運営費 (130,681 千円)	立山カルデラの自然・歴史や、100 余年にわたり続けられている日本屈指の砂防事業について広く紹介する立山カルデラ砂防博物館において、年間を通じて常設展や企画展等を実施した。 博物館の野外ゾーンである立山カルデラを実際に訪れて、立山カルデラの自然、歴史、砂防事業について理解を深める体験学習会(31回、499人参加)を実施し、参加者にPRを行った。	砂防課
黒部ルート等プロモーション事業 (8,956 千円)	令和6年の「黒部宇奈月キャニオンルート」の一般開放を見据え、パンフレット等によるプロモーションを展開するとともに、インバウンド向けやPR会社を活用したプロモーションなど、想定するターゲットに向けて旅行商品の魅力を発信した。	観光振興室
黒部ルートを含む旅行商品造成事業 (15,086 千円)	令和6年の「黒部宇奈月キャニオンルート」の一般開放に向けて、旅行商品の満足度を高める具体的サービス内容の検討、ガイド養成の開始、幅広い旅行会社を通じて販売するための体制の検討・構築を行った。	観光振興室
立山・美女平アクセス施設耐用性確認調査 (14,105 千円)	立山黒部貫光(株)が実施する、立山ケーブルカー線全線(立山～美女平間)の道床、路盤、立山ケーブルカー沿線の落石対策、擁壁、のり面の耐用性調査および評価を支援した。	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
立山黒部滞在周遊促進・魅力創出検討モデル実証事業 (23,079千円)	立山黒部アルペンルートでの滞在周遊を促進するため、エリア内を周遊しやすいモビリティ（電気バス等）の導入可能性の検討及び実証を行った。 また、山麓部と連携した長期滞在周遊実現に向けた調査・ツアーの実証や、遊休スペースを活用したマルシェ等の食関係のイベントを試験的に実施した。	観光振興室
立山黒部魅力再発見・誘客支援事業（再掲） (112,786千円)	県民による立山黒部の魅力再発見やマイクロツーリズムの促進に向けて、立山黒部貫光(株)や黒部峡谷鉄道(株)が実施する誘客キャンペーン等を支援した。 ・富山県民や近隣県民を対象とした割引きっぷ、各種クーポン券付きっぷの販売や、夏休み期間中の小学生運賃無料キャンペーンを支援 ・旅客誘致のためのイベント開催や各種広告宣伝を補助	観光振興室

## （２）「世界で最も美しい富山湾」の魅力の創出・磨き上げ

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
官民連携「世界で最も美しい富山湾」活用・保全推進事業 (2,620千円)	官民がこれまで以上に連携・協力して富山湾の活用・保全に取り組む体制を推進するため、富山湾の活用・保全に関する新たな取組みに対し支援等を行った。 ・令和４年度：６件	観光振興室
極東杯国際ヨットレース開催支援事業 (一)	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施実績なし	観光振興室
富山湾岸サイクリングツーリズム推進事業 (3,034千円)	サイクリングを通じた富山湾の魅力発信・誘客促進のため、「富山湾岸サイクリング 2022」を開催した。 また、サイクリストに優しい宿、サイクルカフェの認定、とやまサイクルナビの保守・改修等を実施した。	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
富山湾岸サイクリングコース首都圏等情報発信強化事業 (12,418千円)	サイクリング専門誌、WEBサイトへの特集記事掲載、富山県を特集したサイクリングガイド本の発刊を行った。 また、サイクリングPR動画を活用した動画広告の配信やYouTuber、インフルエンサーを起用したSNSでの情報発信を行った。	観光振興室
首都圏等サイクルショップ連携事業 (1,988千円)	とやまサイクリングマップの改訂を行い、首都圏等における知名度向上を目的として、首都圏等のサイクリングショップでの配布を行った。	観光振興室
訪日サイクリスト誘客促進事業 (2,885千円)	サイクリング人口が多く、富山県への旅行者も多い台湾の旅行会社等に出向宣伝を行うとともに、台湾在住サイクリストに向けたSNSを活用した広告配信を行った。	観光振興室
「世界で最も美しい湾クラブ」情報発信事業 (2,546千円)	富山湾岸サイクリングコースのスタート・ゴール地点に記念モニュメントを設置したほか、「世界で最も美しい湾クラブ」や富山湾を紹介するパネル展の開催等により、富山湾の魅力を発信した。	観光振興室
「世界で最も美しい湾クラブ」カンボジア総会派遣事業 (1,358千円)	カンボジアで開催された「世界で最も美しい湾クラブ」総会に参加し、富山湾の魅力を広く発信した。	観光振興室
富山湾の魅力発信事業 (3,282千円)	釣りを通じた観光誘客を促進するため、WEBサイト「とやま釣りナビ」を開設したほか、首都圏で開催されたボートショーに富山湾ブースを出展し、富山湾の魅力を発信した。	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
「サイクルフェスタとやま2022」開催及び県民向け自転車普及啓発・情報発信業務 (6,600千円)	普段から自転車を利用しない県民にも、自転車に乗る楽しみやメリットなどを知ってもらうとともに、自転車を活かした健康づくりを推進するため、自転車をテーマにした「サイクルフェスタとやま2022」を開催した。 また、インフルエンサーによるYouTube、パンフレットによる情報発信を行った。	観光振興室
令和4年度「富山湾岸サイクリングコース」利用状況調査 (3,300千円)	・自転車走行台数の調査 場所：ひみ番屋街、今川橋付近、海の駅蜃気楼 日時：6月17日(金)、18日(土)、19日(日) 9月30日(金)、10月1日(土)、2日(日) ・利用者等へのアンケート調査 場所：ひみ番屋街、岩瀬カナル会館、海の駅蜃気楼 日時：6月18日(土)、19日(日) 10月1日(土)、2日(日) 富山県サイクリング協会の会員にも実施	観光振興室
サイクリングコース整備事業 (182,029千円)	「富山湾岸サイクリングコース」において、より安全で快適に富山湾の素晴らしい眺望を楽しんでいただけるよう、走行環境の整備を実施するとともに、海沿いにて新たな自転車専用道路等の整備を推進した。 ・矢羽根型路面表示等の整備 ・自転車専用道の整備	道路課
海王丸保存活用事業 (94,899千円)	文化的価値の高い帆船海王丸を永く保存し、海王丸パークで公開するとともに、総帆展帆や海洋教室などにより、海、船、港への関心を高め、観光振興につなげた。	港湾課

### (3) 富山の強みを活かした高付加価値のコンテンツ造成

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
新たな時代に対応した観光地域づくり支援事業(再掲) (17,104千円)	ポストコロナを見据え、観光事業者が取り組む旅行商品・サービスの造成やデジタル技術の活用などの新たな観光ビジネスに対し支援した。 ・補助件数 28件	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
地産地消の推進 (14,169千円)	ポイント制度の実施など、県民ぐるみで県産品を大きく育てる地産地消運動を展開した。 ・県産品購入ポイント制度の実施 (約2万件の応募)	市場戦略推進課
「とやま食の匠」の認定・普及 (24千円)	富山県の特産品、伝統的な郷土料理や県産食材を活かした創作料理において、卓越した知識や技能を有し普及活動を積極的に行える個人や団体を、「とやま食の匠」として認定し、とやまの食の魅力を県内外に発信した。 ・新規認定 8個人・団体(計 180個人・団体) ・講師派遣 3回 ※新型コロナの影響でイベント減	市場戦略推進課
富山米のブランド力向上 (100,740千円)	県内外での富山米販売促進キャンペーンや消費拡大のためのPRなどにより、「富富富」など富山米のPRとブランド力向上を図った。	市場戦略推進課
「富のおもちかえり」販路拡大・ブランド化事業 (1,200千円)	本県の農林水産品を活用したお土産品「富のおもちかえり」の販売拡大を目指し、セット販売の実証やPR販売を行った。	市場戦略推進課
「越中とやま食の王国フェスタ」の開催 (27,533千円)	「越中とやま食の王国フェスタ」(秋フェスタ・冬フェスタ)を開催し、富山県の食の魅力を県内外にアピールし、食による通年観光の促進を図った。 ・秋フェスタ(富山産業展示館、令和4年10月29日～30日) 県内を中心に約19,000人が来場。 ・冬フェスタ(「とやま食の匠」の県内11店舗、令和5年1月27日～2月19日 計24日間) 「とやま食の匠の越中料理と地酒を楽しむフェア」 とやま食の匠(創作の匠)が腕をふるう越中料理と富山の地酒を、一定の期間を通じて提供する「フェア」形式で実施。	市場戦略推進課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
ふるさと認証食品（Eマーク） 制度の普及 (326千円)	<p>県内の良質な農林水産加工食品について、一定基準を満たす食品を「富山県ふるさと認証食品（Eマーク）」として認証し、県産特産品のイメージアップと有利販売を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7品を新規に認証、令和4度末210品</li> </ul>	市場戦略推進課
「富山のさかな・水産加工品」 ブランド化推進事業 (20,752千円)	<p>全国的に知名度が向上してきた「富山のさかな」のブランド力をより強固なものとし、一層の販路拡大等を図るため、北陸新幹線による「富山のさかな」輸送事業や国内最大級の水産見本市への出展等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北陸新幹線による「富山のさかな」輸送事業の実施</li> <li>・シーフードショーへの出展及びPRイベントの開催 首都圏等での国内最大級の水産見本市へ「富山県ブース」を出展</li> </ul>	市場戦略推進課
まちの未来創造 モデル事業 (750千円)	<p>地域資源を活用した住民主体の地域づくりを推進するため、モデル地域を選定し、まちづくり計画に基づいて実施するまちづくり事業に対して支援し、観光振興や地域の活性化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・温泉資源を核とした「ごちやまぜ」による共生と生涯活躍、健康長寿のまちづくり推進事業（射水市）</li> </ul>	ワンチームとやま推進室
「富山県推奨とやまブランド」 推進事業 (8,712千円)	<p>「富山県推奨とやまブランド」の魅力を、県内外に発信することにより、県産品の知名度の向上や本県のイメージアップを図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3品目3事業者を新たに認定。</li> <li>・認定品を紹介するパンフレットやPR動画を制作</li> </ul>	広報課
「明日のとやまブランド」育成 支援事業 (4,098千円)	<p>事業者がブランド関係の専門家から助言、指導を受ける取組み等を支援することにより、新たな「とやまブランド」の育成を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3品目3事業者を新たに選定</li> <li>・補助件数 12件</li> </ul>	広報課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
地域文化力向上・活性化支援事業 (4,353千円)	県内団体が取り組む特色ある文化事業を支援し、地域の文化力の向上や文化を活かした地域活性化を図った。 ・補助件数 13件	文化振興課
内山邸文化の魅力再生事業 (1,832千円)	平成10年に国登録有形文化財に登録された内山邸において、利用促進のための魅力発信事業を実施した。	文化振興課
とやまのお土産新ブランド創出事業 (11,550千円)	北陸新幹線敦賀開業を見据え、「美・癒し」をテーマとした新ブランド「美のこわけ」のテスト販売を開始したほか、ブランド浸透のためのPR等を実施した。	商工企画課
とやま中小企業チャレンジファンド 観光ビジネス支援事業 (1,600千円)	北陸新幹線や空港、高速道路網など「北陸の十字路」としての交通基盤の拡充に関連した新商品・新サービスの開発に係る事業や、国内外の観光客等への対応に係る事業を支援した。 ・採択件数2件	地域産業支援課

(4) 「富山らしい」コンテンツの〔造成〕＝〔流通〕＝〔購入〕までのサプライチェーンの整備

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
まるごと旅行商品化プロジェクト実施事業 (再掲) (15,005千円)	県内市町村、観光協会、観光事業者等と連携し、着地型旅行商品の商品化をサポートするとともに、大都市圏を中心とした大手旅行会社への営業活動を行い、旅行会社による富山旅行商品の造成を促進した。	観光振興室

(5) 体験型・滞在型の多様なツーリズムの展開

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
産業観光魅力創出事業(再掲) (2,930千円)	産業観光魅力創出補助金により、県内企業の受入態勢の整備に対する支援を行った(4件)。	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
教育旅行誘致促進事業 (3,930千円)	<p>県内事業者と旅行会社によるオンライン商談会の開催や、首都圏・関西圏の旅行会社への出向宣伝を実施し、富山県への教育旅行誘致を図った。</p> <p>また、県内事業者や観光担当者に対する誘致検討会の実施により、県内の受入体制の強化を図った。</p>	観光振興室
アートのまちめぐりパスポート事業 (3,000千円)	<p>富山県美術館をはじめ、県内の魅力的・個性的な美術館・博物館を巡るパスポートの造成・販売等を実施した。</p>	観光振興室
うみとやまローカルラボ（夏編・秋編）の開催 (4,217千円)	<p>県内の中山間地域を中心に特色ある活動に取り組むローカルプレイヤーとの交流体験企画「うみとやまローカルラボ（夏編・秋編）」を開催し、中山間地域の魅力の発掘・発信を通して関係人口の拡大を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催期間 夏編：令和4年9月10日（土）、11日（日） 秋編：令和4年10月15日（土）、16日（日）</li> <li>・参加者 計39名</li> </ul>	ワンチームとやま推進室
プロスポーツチーム地域活性化事業 (4,500千円)	<p>プロスポーツチームの運営会社に取り組む地域活性化に資する事業を支援し、地域活性化及び観光振興を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助実績 3団体</li> <li>・主な事業内容 ホームゲームでの県民参加型イベントの実施</li> </ul>	スポーツ振興課
マラソン大会開催事業 (89,503千円)	<p>北陸新幹線開業を機に県民総参加によるスポーツ振興や富山の魅力創造、関係人口の拡大を図るため、「富山マラソン2022」の開催を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・富山マラソン実行委員会等の開催</li> <li>・富山マラソン2022の開催（13,716名出走）など</li> </ul>	スポーツ振興課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
「サイクルフェスタとやま2022」開催及び県民向け自転車普及啓発・情報発信業務(再掲) (6,600千円)	<p>普段から自転車を利用しない県民にも、自転車に乗る楽しみやメリットなどを知ってもらうとともに、自転車を活かした健康づくりを推進するため、自転車をテーマにした「サイクルフェスタとやま2022」を開催した。</p> <p>また、インフルエンサーによるYouTube、パンフレットによる情報発信を行った。</p>	観光振興室
富山県自転車活用推進事業費補助金 (1,122千円)	<p>自転車の活用推進を図る事業のうち、「富山県自転車活用推進計画」に記載された施策の推進に資する事業に対して支援した。</p> <p>補助実績 3件</p>	観光振興室
富山県美術館管理運営費 (593,244千円)	<p>アートとデザインとつなぐ美術館として、世界的コレクションを新しい切り口やテーマ、見せ方で紹介する富山県美術館において、常設展や企画展(6回)の開催等により、観光客を含め、多彩な美術の魅力を県内外に発信した。</p>	文化振興課
水墨美術館管理運営費 (149,322千円)	<p>水墨画など特色のある日本文化の美を広く紹介する水墨美術館において、常設展や企画展(6回)の開催等により、観光客を含め、多彩な美術の魅力を県内外に発信した。</p>	文化振興課
高志の国文学館管理運営費 (199,342千円)	<p>富山県ゆかりの文学に親しみ学ぶ拠点となる高志の国文学館において、企画展や講演会の開催のほか、ふるさと文学振興のための普及啓発事業等を実施し、越中万葉をはじめとした富山県の文学の魅力を県内外に発信した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画展(5回)</li> <li>・ふるさと文学県民講座等の開催(19回)</li> </ul>	文化振興課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
世界的舞台芸術 拠点づくり推進 費 (280,437千円)	<p>「舞台芸術特区T O G A」における世界的な舞台芸術拠点づくりの推進により、質の高い芸術文化を創造・発信するとともに、交流人口の拡大を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界演劇祭「S C O Tサマー・シーズン 2022 (利賀フェスティバル 40周年記念)」の開催</li> <li>・国際的な舞台芸術人材育成、青少年への普及・教育</li> </ul>	文化振興課
イタイタイ病 資料館管理運営 費 (51,966千円)	<p>イタイタイ病に関する貴重な資料を収集・保管し、その教訓等を後世に継承するための施設展示や情報発信を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・語り部講話、特別企画展</li> <li>・資料の収集及び保管 等</li> </ul>	健康対策室
とやま中小企業 チャレンジファ ンド 観光ビジ ネス支援事業 (再掲) (1,600千円)	<p>北陸新幹線の敦賀開業や空港、高速道路網など「北陸の十字路」としての交通基盤の充実に関連した新商品・新サービスの開発に係る事業や、国内外の観光客等への対応に係る事業を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・採択件数 2 件</li> </ul>	地域産業支 援課
とやま帰農塾推 進事業 (4,780千円)	<p>「豊かな自然に囲まれた田舎暮らし」に興味や憧れを持つ都市住民を、自然に恵まれた本県の農山漁村に受講生として迎え、農林水産業や伝統文化体験を盛り込んだ滞在型グリーン・ツーリズム「とやま帰農塾」を開講し、都市と農村との交流・関係人口の拡大、移住の促進、観光の振興を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・とやま帰農塾の開講 (7市町 全9講座)</li> </ul>	農村振興課
とやま農泊ネッ トワーク推進事 業 (10,010千円)	<p>コロナ禍を経て、農山漁村滞在型旅行に対するニーズが全国的に高まる中で、富山県における農泊の広域的な展開・振興を図る観点から、県内の農泊地域や関連団体で構成された「富山県農泊推進ネットワーク会議」を新たに設立し、県内の農泊を広域的に推進していく体制を整備した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・富山県農泊推進ネットワーク会議の開催 (令和4年8月26日)</li> </ul>	農村振興課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
サイクリングコース整備事業 (再掲) (182,029千円)	<p>「富山湾岸サイクリングコース」において、より安全で快適に富山湾の素晴らしい眺望を楽しんでいただけるよう、走行環境の整備を実施するとともに、海沿いにて新たな自転車専用道路等の整備を推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・矢羽根型路面表示等の整備</li> <li>・自転車専用道の整備</li> </ul>	道路課
うるおいある景観づくり推進事業費 (9,990千円)	<p>地域の歴史や文化などを活かした個性豊かな景観を守り育てるとともに、観光振興の視点にも立った良好な景観づくりを推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・景観づくり顕彰「うるおい環境とやま賞」の表彰</li> <li>・景観づくり住民協定に基づく修景に対する支援</li> <li>・市町村の景観づくりの普及啓発に対する支援など</li> </ul>	建築住宅課
中央植物園ウェルカム態勢向上事業 (4,796千円)	<p>中国雲南省から導入した植物コレクションや日本有数のサクラコレクションを有する中央植物園において、国内外の団体旅行客等の利用を促進するため、案内板のQRコードによる多言語化を行うとともに、園内のビューポイントを発掘・発信することによってウェルカム態勢の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・案内板の改修（QRコード付き）</li> <li>・フォトスポットマップを作成し、ポスターやホームページによりPR</li> </ul>	森林政策課
ウィズコロナ時代に対応した環水公園賑わい空間創出事業 (再掲) (16,200千円)	<p>富岩運河環水公園において四季折々のイベントなどを開催し、環水公園を中心とする富山駅周辺地区の賑わい創出と魅力向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「お花見フェスタ」「キッズフェスタ」「サマーフェウンテン」「クリスマスデコレーション」などのイベントの実施</li> <li>・秋から冬にかけて園内を美しく彩るスイートイルミネーションの実施 など</li> </ul>	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
「越中とやま食の王国フェスタ」の開催（再掲） (27,533千円)	<p>「越中とやま食の王国フェスタ」（秋フェスタ・冬フェスタ）を開催し、富山県の食の魅力を県内外にアピールし、食による通年観光の促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・秋フェスタ（富山産業展示館、令和4年10月29日～30日） 県内を中心に約19,000人が来場。</li> <li>・冬フェスタ（「とやま食の匠」の県内11店舗、令和5年1月27日～2月19日 計24日間） 「とやま食の匠の越中料理と地酒を楽しむフェア」とやま食の匠（創作の匠）が腕をふるう越中料理と富山の地酒を、一定の期間を通じて提供する「フェア」形式で実施。</li> </ul>	市場戦略推進課
「富山のさかな・水産加工品」ブランド化推進事業（再掲） (20,752千円)	<p>全国的に知名度が向上してきた「富山のさかな」のブランド力をより強固なものとし、一層の販路拡大等を図るため、北陸新幹線による「富山のさかな」輸送事業や国内最大級の水産見本市への出展等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北陸新幹線による「富山のさかな」輸送事業の実施</li> <li>・シーフードショーへの出展及びPRイベントの開催 首都圏等での国内最大級の水産見本市へ「富山県ブース」を出展</li> </ul>	市場戦略推進課

（6）インバウンド客のニーズに対応した観光コンテンツの開発・磨き上げ

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
欧米豪デジタルマーケティング推進事業 (再掲) (31,964千円)	<p>欧米豪からの誘客を推進していくため、デジタルマーケティングの手法により、ターゲットとすべき市場等を調査・分析した。</p> <p>海外で著名な富山ゆかりの偉人に焦点をあてた外国人向けコンテンツを調査・造成し、海外に向けたプロモーションを実施することで県内への誘客促進を図った。</p>	<p>観光振興室</p> <p>成長戦略室</p>

### Ⅲ ターゲットに応じた戦略的なプロモーション

#### 1 三大都市圏を中心とした国内誘客の推進

##### (1) 北陸新幹線敦賀開業・大阪延伸を見据えた戦略的なプロモーション

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
J R連携富山ファン創出事業 (再掲) (21,375 千円)	首都圏での富山ファン創出・誘客促進を図るため、J R 会員組織と連携した情報発信や誘客を行った。 ・ J R 東日本の旅行会員組織「大人の休日倶楽部」と連携したツアー・趣味の会講座の開催 ・ 駅たびコンシェルジュ向け勉強会等の開催 ・ 首都圏の主要な駅での物産展の開催 など	観光振興室
北陸三県通年誘客キャンペーン事業 (10,000 千円)	北陸三県や北陸経済連合会、J R 西日本等と連携し、大都市圏に向けた一体となった誘客キャンペーンを通年で展開した。	観光振興室
北陸三県誘客促進連携協議会負担金 (3,000 千円)	北陸新幹線開業効果の持続・深化を図るため、北陸三県及び J R との連携のもと、より効果的な北陸観光キャンペーン事業を展開した。 ・ 観光素材記者体験会 ・ 観光素材説明会の開催 ・ 観光情報誌「北陸物語」の発行 など	観光振興室
北陸広域観光推進協議会負担金 (2,500 千円)	北陸への誘客拡大を図るため、北陸三県と各県の商工関係団体、観光連盟などにより協議会を組織し、連携を図りながら、観光キャンペーン及び観光情報の発信を行った。 ・ 北陸の観光パンフレット・マップの作成 ・ 北陸三県観光連盟との共同宣伝事業 など	観光振興室
富山県・岐阜県連携観光誘客事業 (3,049 千円)	富山県・飛騨地域の広域観光周遊ルートを確立するため、岐阜県と連携し、高速道路定額乗り放題企画を実施した。	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
飛越能経済産業 観光都市懇談会 負担金 (100 千円)	飛騨、富山県西部及び能登地域の県、市町村、経済 団体等が連携して地域の観光資源のPR等を行い、広 域観光の促進を図った。 ・インバウンド向け観光ポータルサイトの構築 ・SNS 広告配信 など	観光振興室
(公社) 日本観 光振興協会負担 金 (718 千円)	(公社) 日本観光振興協会への負担金の拠出により、 観光旅行の利便性向上など、同協会の事業に対し支援 を行った。	観光振興室
(公社) 日本観 光振興協会観光 情報システム負 担金 (200 千円)	(公社) 日本観光振興協会へのシステム負担金の拠 出により、自治体や市町村観光協会等による国内旅行 ポータルサイト「全国観るなび」及び同更新システム の運営を支援した。	観光振興室
「ぶり・ノーベ ル街道ウォー ク」負担金 (1,000 千円)	ノーベル賞受賞者ゆかりの地を結ぶ国道 41 号沿線 地域(ノーベル街道)の魅力を体感してもらうスタン プラリー(富山市岩瀬地区、富山市南地区、飛騨市古 川町)を開催し、ノーベル街道を中心とする広域観光 の振興を図った。	観光振興室
団体観光送客強 化促進事業 (23,740 千円)	富山 - 羽田便を利用する羽田発の団体旅行商品に 対して、助成を実施した。	航空政策課
ANA 連携西日 本エリア誘客事 業 (156 千円)	中四国・九州からの乗り継ぎ旅客の利便性を踏ま え、西日本エリアへの訴求を強化し、県内への誘客を 促進した。	観光振興室
ディスカバー北 陸プロジェクト への参画 (850 千円)	北陸三県の行政機関と新聞社が連携し、「北陸新幹 線敦賀延伸」をキーワードに、北陸の魅力を首都圏で 発信するとともに、地元読者にも周知するなど、北陸 エリアの地域力向上のための事業を実施した。	ワンチーム とやま推進 室
北陸イメージア ップ推進会議負 担金 (1,600 千円)	北陸経済連合会、北陸電力及び北陸三県で推進会議 を構成し、北陸の魅力を地域内外に発信して、北陸の イメージアップを図った。 ・北陸 3 県の観光ホームページ「北陸物語」の更新 ・Facebook「北陸物語」での情報発信 など	広報課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
飛越地域等との 交流推進事業 (536千円)	<p>飛越地域の自然文化等の優れた地域資源を活かしながら地方創生を図る「日本の心のふるさとを守り育てる飛越協議会」において、当該地域の交流と連携を推進するとともに、自然をはじめ、古くから伝わる祭り等のPR活動を全国に向け展開した。</p> <p>(協議会の主な事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パンフレットやホームページによるPR</li> <li>・飛越地域への誘客の促進</li> </ul>	行政経営室
敦賀開業に向けた機運醸成事業 (30,363千円)	<p>北陸新幹線敦賀開業に向け、北陸三県連携による観光キャンペーンを実施するとともに、観光情報の発信を強化しメディアでの露出を推進した。</p> <p>北陸三県の観光案内所等による合同勉強会を開催し相互での理解と送客を進めた。</p> <p>本県単独でも、関西圏を中心に、JRとの連携により観光PRイベント等を実施し、敦賀開業に向けた機運の醸成を図った。</p>	観光振興室
関西圏情報発信 検討調査事業 (2,301千円)	<p>令和6年春の北陸新幹線敦賀延伸と、その後の大阪延伸を見据え、大阪での情報発信拠点開設を検討するための基礎調査を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他県の発信拠点に関する調査</li> <li>・関西圏在住者を対象としたアンケート調査</li> <li>・大阪市内におけるインフラ整備、都市開発等の状況及び不動産市場の実態に係る調査 など</li> </ul>	観光振興室

## (2)「富山ファン」に届く効果的な情報発信

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
立山黒部観光宣伝協議会負担金 (再掲) (250千円)	<p>富山県と長野県の関係地方公共団体、交通・観光事業者、観光団体等が連携して立山黒部アルペンルートを中心とした観光宣伝を推進することにより、誘客促進及び広域観光の促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パンフレット作成</li> <li>・都市圏における宣伝PR活動 など</li> </ul>	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
「旬のとやま旅」 情報発信事業 (再掲) (20,621千円)	コアな富山ファンやリピーターの獲得に繋げるため、自然や食文化、伝統文化等の旬の富山県ならではの観光情報をデジタルや紙媒体を有効活用しながら発信した。	観光振興室
「いきいき富山館」管理運営事業 (23,952千円)	東京のアンテナショップ「いきいき富山館」の催事コーナーでの実演販売や、館外での観光・物産キャンペーン等の開催により、本県の物産・観光の魅力を首都圏に情報発信した。 ・各種特産品フェア、実演販売 ・企業での特産品販売、物産観光展への出展など	観光振興室
富山県の物産と観光展の開催 (再掲) (6,900千円)	本県への誘客を図るため、金山総合駅(名古屋市)において、令和4年11月24日～26日に「とやまの観光とうまいもの展」を開催し、本県の物産と観光地の魅力を発信した。	観光振興室
北海道における富山県の物産と観光の紹介事業 (3,000千円)	本県への誘客や特産品販売の拡大を図るため、北海道富山会館において、本県の物産の展示、紹介及び観光宣伝等を実施した。	観光振興室
北海道富山会館創立70周年記念PR事業 (4,465千円)	北海道富山会館創立70周年に当たり、北海道と富山県の交流を促進するため、北海道との相互誘客に向けたPR等を実施した。	観光振興室
観光パンフレット等作成 (4,546千円)	本県への誘客を図るため、県内の主要な観光資源と地図情報をあわせて紹介する「とやま観光イラストMAP」を作成・配布した。	観光振興室
戦略的な観光情報発信事業 (再掲) (9,000千円)	「とやま観光ナビ」を中心とした観光情報発信や、SNS等を活用した流入対策を行う等、制作・発信・検証のPDCAを回し、デジタル観光情報発信力を強化した。 富山県の魅力である「食」に特化したSNSアカウントを新規開設し、食関連の催事や食をテーマとした本県公式サイト等と連携し、本県の食の豊かさを国内外に発信することで、関係人口の創出を図った。	観光振興室  成長戦略室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
観光キャンペーン負担金、観光振興事業補助金 (35,402千円)	<p>(公社)とやま観光推進機構が実施する誘致宣伝・普及活動や観光振興の事業等に対し、負担金及び補助金を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般消費者向け観光PR事業 (新聞、雑誌、ラジオ等による情報発信 など)</li> <li>・旅行会社向け観光PR事業 (出向宣伝、観光説明会 など)</li> <li>・観光PR資料作成事業 (各種観光情報誌の発行 など)</li> </ul>	観光振興室
冬季誘客促進事業 (637千円)	<p>冬季は、観光客の入込数が落ち込むこと、天候や積雪等により個人旅行者の移動手段の確保が困難になることから、多くの観光客を呼び込むため、団体ツアーや旅行商品造成を支援した。</p>	観光振興室
広域連携による観光PR事業 (2,500千円)	<p>百貨店やショッピングモールが主催する北陸三県等との合同物産展等において、北陸ほか近隣各県との連携を図り、エリア一体的な観光PRを実施した。</p>	観光振興室
首都圏情報発信拠点運営事業 (146,234千円)	<p>首都圏において本県の魅力をPRするため、物販、飲食、観光・定住・U I J ターンに係る情報提供等の機能を有する「日本橋とやま館」から、上質なライフスタイルを発信した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度来館者数：約23万7千人</li> <li>・令和4年度売上げ：約3億1000万円</li> </ul>	観光振興室
首都圏とやまの魅力発信事業 (再掲) (25,997千円)	<p>首都圏において富山県の魅力をPRするため、日本橋とやま館を活用し、館主催及び県内市町村、県庁内各課との共催イベントの開催や、本県の魅力を紹介するフリーペーパーの発行、スタンプラリーや地域イベントへの参加などにより、本県独自の魅力について情報発信を行った。</p>	観光振興室
首都圏観光・定住促進事業 (12,423千円)	<p>本県への観光・定住を促進するため、日本橋とやま館において、観光・定住に関する相談及び情報提供を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度相談対応：延べ約1万5千人</li> </ul>	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
首都圏魅力発信 イメージアップ 事業(再掲) (6,499千円)	<p>首都圏メディアへのリリース配信や、マスコミ各社とのリレーション構築、イベント出展、首都圏独立放送局3局での番組放映、本県の食や観光を体験できるオンライン交流会の実施等により、富山の魅力発信を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リリース配信13回</li> <li>・「富山の極味 in T o k y o」の作成・配布 等</li> </ul>	首都圏本部
全国観光需要促進事業(再掲) (7,732,174千円)	<p>コロナ禍における観光需要の創出のため、地域ブロック県民向け観光キャンペーン、全国旅行支援等を実施した。</p> <p>○地域ブロック県民向け観光キャンペーン (地元で愉しもう!とやま観光キャンペーン) (令和3年5月1日~令和4年10月10日) 令和4年度分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊割引額1,545,853千円(337,057人泊)</li> <li>・日帰り旅行割引額288,808千円 利用者数83,944人</li> <li>・おみやげクーポン券利用額738,926千円</li> </ul> <p>○全国旅行支援 (富山で休もう。とやま観光キャンペーン) (令和4年10月11日~令和5年3月31日) 令和4年度分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊割引額2,429,180千円(642,916人泊)</li> <li>・日帰り旅行割引額15,311千円 利用者数10,299人</li> <li>・おみやげクーポン券 利用額1,668,665千円</li> </ul> <p>また、全国旅行支援の利用を促進するため、各種プロモーションを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光物産展開催 計6回 (熊本、大阪、博多、仙台、高崎)</li> <li>・主要テレビ局でのCM放映(関東圏、関西圏)</li> <li>・新聞広告掲載(関東圏、関西圏、中京圏等)</li> <li>・WEB広告配信(全国)</li> <li>・鉄道、空港デジタルサイネージ広告(首都圏等)</li> </ul>	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
アンテナショップ連携によるPR (G7教育大臣会合関連事業) (1,998千円)	本県の観光資源や食などの魅力発信につなげるため、日本橋とやま館において、関係閣僚会合を開催する他の自治体と連携したPR等を実施した。	観光振興室
トヤマ・ジャスト・ナウ (1,694千円)	県内のイベントや観光、特産品等の旬の情報をホームページ「トヤマ・ジャスト・ナウ」に掲載し、富山の最新情報をタイムリーに情報発信した。 ・毎週水曜日に1つの記事をホームページで配信	広報課
ワクワクとやま応援寄附金 (36,906千円)	一定額以上のふるさと納税(寄附)者に対し、県特産品等を贈呈することにより、特産品や観光資源のPRを行った。 ・リーフレットの作成、配布 ・ホームページでのPR ・寄附金額に応じ、「富富富」、アイスクリームスプーン、地酒、ほたるいか詰合せ等を贈呈 【令和4年度：寄附件数 4,233件 寄附金額 99,296千円】	税務課
富山くすりフェア開催事業 (2,000千円)	(一社)富山県薬業連合会が開催した「富山くすりフェア」を支援し、富山のくすりのイメージアップと販路拡大を図った。 ・県内くすり関連施設をめぐる謎解きイベントの開催 令和3年7月25日～令和5年3月31日 ・愛知県の大規模商業施設にて「富山のくすり」の歴史や県内医薬品産業を紹介するイベントの開催 令和5年2月4日～5日	くすり政策課
「富山のくすり」販路拡大推進事業 (800千円)	(一社)富山県薬業連合会が日本橋とやま館(東京都)において開催した「出会いが効く越中富山くすりフェア」を支援し、大都市圏において「富山のくすり」の魅力を発信した。 ・配置薬、富山のくすり関連雑貨の販売 ・富山県の医薬品産業PR動画の放映 令和5年2月13日～19日	くすり政策課

### (3) 映画等の誘致や多様なメディアの活用・連携

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
映画を活用した観光PR事業 (3,000千円)	本県が舞台となった映画の公開にあわせて、ロケ地富山の魅力や観光情報を発信した。	観光振興室
ロケツーリズム推進事業 (2,000千円)	本県が舞台となった映画「川っぺリムコリッタ」の公開に合わせて、首都圏からの誘客の促進を図った。 ・首都圏の主要 JR 駅にてロケ地PR広告の実施等	観光振興室
木曾義仲・巴御前シンポジウム開催事業 (1,000千円)	小矢部市・南砺市と連携し、「鎌倉殿の13人」に出演した俳優2名をゲストに招いてトークイベントを開催し、大河ドラマを契機とした観光振興や地域活性化を図った ・義仲・巴プレミアムトークの開催	行政経営室

## 2 海外誘客の推進

### (1) 海外の個人旅行者に届く効果的な情報発信

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
訪日観光客向け観光情報発信・取得利便性向上事業 (3,337千円)	海外に富山県の観光資源等をPRするため、外国語パンフレット等を制作した。	観光振興室
インバウンドSNS等情報発信強化事業(再掲) (4,600千円)	海外の各市場の嗜好に応じた英語、繁体字、簡体字のSNSを用いて、訪日外国人旅行者の嗜好に合わせた県内観光情報の発信を行った。	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
アフターコロナを見据えた欧州富裕層等誘客促進事業 (19,808千円)	イギリス・ロンドンにおいて、FIT・富裕層等の誘客につながるため、富山の暮らしや伝統文化等の体験・展示や観光PRを実施し、興味を喚起するとともに、BtoBセールス、PR・商談や市場調査を通して富山への誘客を促進した。 ・富山 week in ロンドン (令和4年11月1日～7日) @パンテクニコン他	観光振興室
インバウンド向け観光情報サイトリニューアル事業(再掲) (29,564千円)	インバウンド向け観光ホームページをデザイン・内容・システム等を見直してリニューアルすることにより、魅力的かつ戦略的な情報発信を行い、インバウンドの誘客促進や周遊促進、消費額の増を図った。 ・デザイン・レイアウトのリニューアル ・SNSとの連動 ・コンテンツの充実 など	観光振興室

## (2) 近隣県等との連携によるプロモーションや広域周遊の促進

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
ビジット・トヤマ広域連携強化事業 (18,341千円)	北陸新幹線沿線地域や近隣県と連携し、インフルエンサー招聘による情報発信や現地商談会の実施等により、「新ゴールデンルート」など広域観光周遊ルートの形成促進を図った。	観光振興室
(一社)中央日本総合観光機構負担金 (3,000千円)	中部9県3市の観光事業に関する中枢機関である(一社)中央日本総合観光機構の会員として、域内の観光資源のPR等を行い、広域観光の促進を図った。	観光振興室
北陸国際観光テーマ地区推進富山協議会負担金 (2,800千円)	北陸3県及び管内自治体等と組織している「北陸国際観光テーマ地区推進協議会」において、観光プロモーション動画の制作や海外有力メディアを活用した記事広告、情報発信を実施するなど、広域観光の促進を図った。	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
(独) 国際観光振興機構負担金 (680 千円)	(独) 国際観光振興機構 (J N T O) の賛助団体に加入し、J N T O の海外事務所のネットワークを活用した訪日旅行市場に関する情報収集や海外への P R により、本県の海外での認知度向上を図った。	観光振興室

### (3) 東アジア・東南アジアからのリピーター客の取り込み

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
台湾観光案内サポーター設置事業 (120 千円)	台湾出身の観光案内サポーターを設置し、繁体字での情報発信や観光事業者と台湾人観光客とのコミュニケーションを支援した。	観光振興室
A N A 連携東南アジア F I T 誘客事業 (2,400 千円)	富山県の観光地を紹介する WEB サイトにおける特設ページの改修や外資系コンシェルジュ向け FAM トリップを実施した。	観光振興室
観光客誘致コンサルティング事業 (4,200 千円)	台湾、香港、タイからの誘客促進のため、本県観光情報の継続的な発信、現地旅行事業者等との関係構築、現地ニーズに即した旅行商品造成の働きかけ等を実施した。	観光振興室
国際観光誘客促進 P R 事業 (5,389 千円)	台湾及びタイの旅行博へ出展し、県内観光地の情報発信を実施した。	観光振興室
台北便運航再開観光プロモーション事業 (12,000 千円)	富山台北の臨時便の運航及び定期便の再開にむけて、台北市内の主要駅での壁面広告や、台湾の現地旅行会社を招聘する FAM ツアーを実施して、県内観光地の知名度向上を図った。	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
大連事務所運営費 (25,970千円)	富山県と中国との交流拡大を推進する大連事務所を拠点に、観光振興のためにオンラインを含めた各種取組みを展開し、アフターコロナにおける中国からの観光客の誘致促進を図った。 ・「天皇誕生日祝賀レセプション」、事業者による特産品のオンライン紹介販売等での観光PR活動 ・中国の旅行会社等との面談、情報収集、PR等	国際課
とやまの農林水産物輸出促進事業 (126,172千円)	令和4年3月に策定した「とやま輸出ジャンプアップ計画」の目標達成に向けて、とやま輸出コミュニティを創設し、輸出に関心のある事業者を対象としたセミナーを開催するほか、リーディングプロジェクトや地域商社を中心とした輸出プラットフォームの構築に取り組んだ。	市場戦略推進課

#### (4) 欧米豪の富裕層など新規市場の開拓

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
欧米豪デジタルマーケティング推進事業 (再掲) (31,964千円)	欧米豪からの誘客を推進していくため、デジタルマーケティングの手法により、ターゲットとすべき市場等を調査・分析した。 海外で著名な富山ゆかりの偉人に焦点をあてた外国人向けコンテンツを調査・造成し、海外に向けたプロモーションを実施することで県内への誘客促進を図った。	観光振興室 成長戦略室
クルーズ客船の安全・安心な受入体制確保事業 (1,565千円)	受入体制の構築に向けた専門家との連携、クルーズ客船の誘致を図った。	観光振興室
クルーズプロモーション強化事業 (10,196千円)	船社・旅行会社への誘致活動の強化、クルーズ客船誘致に係るコーディネーターやセールス専門員の配置等を実施し、クルーズ客船の誘致を図った。	観光振興室

### 3 ビジネス観光誘客の推進

#### (1) ビジネス客向けの旅行商品の造成

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
学会等開催事業 費補助金 (11,212千円)	学会等の開催に係る費用の一部を助成し、誘致促進を図った。 ・補助件数 19件	観光振興室
企業コンベンション誘致促進事業 (989千円)	ビジネス客のうち、企業コンベンションの開催を促進するため、県内企業を対象に企業コンベンションの実施状況や本県開催の可能性等について調査を実施し、可能性のある企業等に対して誘致活動を実施した。	観光振興室

#### (2) ものづくり県としての強みを活かした産業観光の促進

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
産業観光魅力創出事業(再掲) (2,930千円)	産業観光魅力創出補助金により、県内企業の受入態勢の整備に対する支援を行った(4件)。	観光振興室

#### (3) ワークেশョン・ブレジャー等ビジネス観光の誘致

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
とやまでお試しテレワーク移住促進事業(再掲) (1,634千円)	関係人口の創出や二地域居住・将来的な移住の促進、サテライトオフィスの誘致につなげるため、県外在住のテレワーカーのお試し移住の支援を行った。 ・利用者 のべ17名	成長戦略室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
とやまワーケーション推進事業 (再掲) (9,660千円)	<p>コロナ禍におけるテレワークなど新しい働き方の変化に対応し富山ならではのワーケーションを推進するため、県内各地のモデルプランや体験ツアーの充実を図るとともに、戦略的なPRや県外企業等への支援によりワーケーション誘致を推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内でのワーケーション実施者への助成利用者 のべ55名</li> </ul>	成長戦略室

#### (4) 本県の特色等を活かした戦略的なコンベンション等の誘致

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
国際会議「富山で開こう。」推進事業 (1,249千円)	ICCA（国際会議協会）のデータベースを活用し、国際会議の誘致を強化した。	観光振興室
(公財) 富山コンベンションビューロー補助金 (14,782千円)	(公財) 富山コンベンションビューローの運営経費等に対し補助し、当該団体が実施する主催者支援事業及び誘致活動等を支援した。	観光振興室
コンベンション指導情報提供業務委託事業 (5,000千円)	本県の代表的なコンベンション施設である富山国際会議場を運営する富山大手町コンベンション(株)を活用し、県や主催者への情報提供、施設の利用調整等を実施した。	観光振興室
コンベンション誘致促進事業 (2,676千円)	コンベンションに関する情報をデータベース化し、コンベンションの誘致を効果的に実施した。	観光振興室
コンベンション誘致宣伝事業 (784千円)	<p>本県の優れたコンベンション開催環境をアピールするために、商談会へ出展した。本県のコンベンション開催支援制度等をPRするとともに、会議施設や宿泊施設、エクスカーションのモデルコース等を紹介し、コンベンションの誘致に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第32回国際MICEエキスポ(IME2023) 令和5年2月16日</li> </ul>	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
誘致訪問活動 (1,317千円)	県内及び首都圏等において、コンベンションの主催者等を訪問し、積極的な誘致活動を展開し、本県へのコンベンションの誘致促進を図った。	観光振興室
富山国際会議場 運営費補助金 (87,072千円)	本県の代表的なコンベンション施設である富山国際会議場の運営等を支援した。	観光振興室
学会等開催事業 費補助金(再掲) (11,212千円)	学会等の開催に係る費用の一部を助成し、誘致促進を図った。 ・補助件数 19件	観光振興室
富山型 MICE 連 携推進事業 (504千円)	国際会議等の誘致に影響力を持つ、JNTO が認定した MICE アンバサダーを招聘するファミツアーを開催するための準備を進めた。	観光振興室

#### (5) 富山の魅力を活かした会場やアフターコンベンション等の提案

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
コンベンション タクシー助成事 業 (64千円)	県外からのコンベンション参加者が県内を観光する際のタクシー料金の一部を助成することにより、アフターコンベンションを支援した。 ・補助件数 22件	観光振興室
おもてなしタク シードライバー 養成事業(再掲) (702千円)	タクシー利用者の満足度向上を図るため、質の高いおもてなしやきめ細かなサービスを提供できる「おもてなしタクシードライバー」及び「おもてなし優良タクシー事業者」を表彰し、ドライバーの接遇やサービス意識の向上を図った。 ・養成研修：令和4年7月19日 ・表彰：令和4年11月22日 表彰者7人、表彰事業者1社 コンベンションタクシーを担当するドライバーを主に対象とした「観光ガイドドライバー養成講座」を開催し、観光案内や接遇等、おもてなし力の向上を図った。 ・令和4年9月6日、20日 (参加者17人)	観光振興室